

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公表番号】特表2000-514821(P2000-514821A)

【公表日】平成12年11月7日(2000.11.7)

【出願番号】特願平10-506791

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 471/04

A 6 1 K 31/501

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00

【F I】

C 0 7 D 471/04 1 0 6 A

A 6 1 K 31/501

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月23日(2004.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書（自発）

平成16年 3月 23 日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第506791号

2. 補正をする者

住所 大阪府大阪市中央区道修町三丁目4番7号

524 名称 藤沢薬品工業株式会社

3. 代理人

住所 〒541-0044 大阪市中央区伏見町四丁目2番14号

(藤村大和生命ビル)

高島国際特許事務所

電話 (06) 6227-1156

氏名 弁理士 (8079) 高 島 一

4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

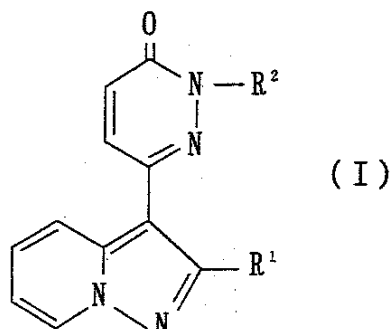
6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正する。

別 紙

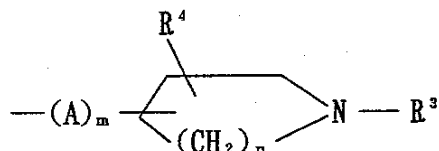
請求の範囲

1. 下記式(I) :

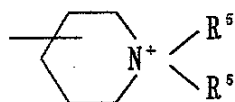


[式中、 R^1 はアリールであり、

R^2 は1個またはそれ以上の置換基を有していてもよい、1個または2個の硫黄原子および1～3個の窒素原子を含有する不飽和3～8員複素単環基で置換された低級アルキル；式：



(式中、 R^3 は水素、低級アルキル、アル(低級)アルキルまたはアシルであり、 R^4 は水素またはヒドロキシであり、Aは低級アルキレンであり、mは0または1の整数であり、nは1または2の整数である) で表される基；式：

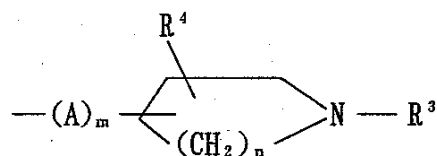


(式中、 R^5 および R^6 はそれぞれ低級アルキルである) で表される基；またはキヌクリジニルである] で表されるピラゾロピリジン化合物またはその塩。

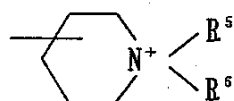
2. R^1 がフェニルであり、

R^2 が1～3個の低級アルキルを有していてもよいチアゾリルで置換された低

級アルキル；式：



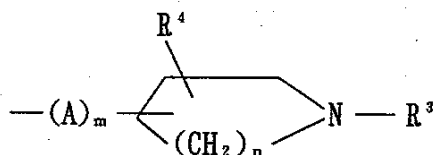
(式中、 R^3 は水素、低級アルキル、フェニル（低級）アルキル、低級アルカノイル、低級アルコキシカルボニルまたはフェニル（低級）アルコキシカルボニルであり、 R^4 は水素またはヒドロキシであり、Aは低級アルキレンであり、mは0または1の整数であり、nは1または2の整数である）で表される基；式：



(式中、 R^5 および R^6 はそれぞれ低級アルキルである）で表される基；またはキヌクリジニルである、請求の範囲1に記載の化合物またはその塩。

3. R^2 が、1～3個の低級アルキルを有していてもよいチアゾリルで置換された低級アルキルである請求の範囲2に記載の化合物またはその塩。

4. R^2 が式：



(式中、 R^3 は水素、低級アルキル、フェニル（低級）アルキル、低級アルカノイル、低級アルコキシカルボニルまたはフェニル（低級）アルコキシカルボニルであり、 R^4 は水素またはヒドロキシであり、Aは低級アルキレンであり、mは0または1の整数であり、nは1または2の整数である）で表される基である請求の範囲2に記載の化合物またはその塩。

5. 請求の範囲 1 に記載の化合物またはその塩を、医薬上許容しうる担体または賦形剤と共に含有する医薬組成物。

6. 請求の範囲 1 に記載の化合物またはその塩を有効成分とする、うつ病、痴呆、不安、疼痛、脳血管性疾患、心不全、高血圧、循環機能不全、蘇生後の不全収縮、徐脈性不整脈、電気機械解離、血行動態の虚脱、S I R S (systemic inflammatory response syndrome)、多臓器不全、腎不全、腎毒性、ネフローゼ、腎炎、浮腫、肥満症、気管支喘息、痛風、高尿酸血症、乳幼児突然死症候群、免疫抑制、糖尿病、潰瘍、肺炎、メニエール症候群、貧血、透析誘導性の低血圧、便秘症、虚血性の腸疾患、イレウス、心筋梗塞、血栓症、閉塞症、閉塞性動脈硬化症、血栓静脈炎、脳梗塞、一過性の虚血性発作および狭心症の、予防または治療剤。

7. 請求の範囲 1 に記載の化合物またはその塩のアデノシンアンタゴニストとしての使用。

8. アデノシンアンタゴニストが治療上有効である疾患の治療の為の医薬組成物の製造の為の、請求の範囲 1 に記載の化合物またはその塩の使用。

9. 請求の範囲 1 に記載の化合物またはその塩を使用することによるアデノシン拮抗作用を評価する方法。